



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

表紙	福井の名所探訪④ 北潟湖畔花菖蒲園
P2～3	なんやかんやの27年間弱と 外から見た「福井県立すこやか シルバー病院」
P4	家族は今「不安との闘い」
P5	トピックス 新入職員紹介・ すこシルの小さな文化祭
P6	外来診療担当医表 デイクアだより
P7	令和3年度 満足度調査結果
P8	配信研修 令和4年研修案内

なんやかんやの27年間弱と 外から見た「福井県立すこやかシルバー病院」

福井赤十字病院 緩和ケア科／精神科 伊藤 達彦

令和4年（2022年）3月31日付【当院への正式就労は1995年5月15日より】で、福井県立すこやかシルバー病院（以降、「すこシル」と略）からの職籍を抜くことになりました。県職よりの出向期間を含めて、27年弱の期間をこの病院で過ごさせていただいた。そして、『古稀』という年齢（「かぞえ」でいうならば、古稀+1歳か）になってしまいました。

これを退職としてよいのか否かは、若干微妙な感じも致します。といいますのは、私的なことですが、たしか2年前か、68歳で事務上／書類上の退職となっております。その後、自身の我儘で2年間で非常勤パートという形で、勤務させて頂きました。瞬間に契約の2年間で過ぎ去ってしまいました。やはり、今回が「すこシル」よりの実質的な退職という風に考えております。

2年前に、本冊子の中で“『病院で過ごした四半世紀』から”という小文を書かせていただきました。その中で、新しき事業を始めたいと思いながらもできなかったことに言及した一文があります。現時点でも、向後の病院の発展／進化を考えたり、やり残した多くの事を思い浮かべてしまう。

まずは、当病院の歴史、まだまだ浅いのですがそれについて触れてみようと思います。今までに、福井大学名誉教授である伊崎公德先生や当院初代院長であった故辻幸江先生らが記されているので重複することを容赦願った上で、あらためてその道程を記させていただきます。

「当すこシル」の始まりは、昭和62年（1987年）の精神衛生法の改正→翌63年の精神保健法の施行とともにである。昭和62年3月の県精神衛生審議会の中で、「痴呆性老人の保健医療対策について」という議題があったようです。当時、本県自体の高齢化率（昭和60年時点）は12.8%（全国は、10.3%）とその進展が早いことや認知症（当時は、「痴呆」）の簡便な有病率などが試算され、その年の9月に「認知症性老人医療等検討部会」が立ち上げられ、翌63年3月時に上記審議会へ上げられ、県に報告されている。この流れの中で、介護教育ならびに高齢者（老人）医療福祉施設が行える公的機関のモデルとして現在の「認知症（痴呆性）高齢者（老人）医療・介護教育センター」構想→『福井県立すこやかシルバー病院』に連動している。この設立の流れの中では、（ずいぶんと）高き理想が掲げられていたようである。ここで国の高齢者／認知症絡みの施策として、仔細は割愛するもののゴールドプラン（平成元年策定）→新ゴールドプラン（平成7年）→ゴールドプラン21（平成12年）→オレンジプラン（平成24年9月15日公表）→新オレンジプラン（平成27年1月27日公表）→現在は、「予防」と「共生」の二つの柱を中心とする『認知症施策推進大綱令和元年6月18日公表』という変遷にある。これらの施策は、ほぼ平成という時代に公表されているように思われる。



さて、話を元に戻すが、「すこやかシルバー病院」の始まりは、多くの理想に燃えていたように思う。多少とも、自身が関与した形で、やれた事としての一つはオレンジプランの中でうたわれていた認知症カフェ「心愛^{ここあ}」の開設（平成25年）であろう。この開設には、当時の理事長（たしか、増永氏）もきわめて協力的に動いていただき感謝している。このカフェについても、一昨年からの新型コロナのパンデミック状況の中で休止にある。あくまでも風評であるが、当財団／当院が絡むカフェは閉鎖となると聞いている。これが、決定事項であるならば、残念なことと感じている。この継続については、全国に3つあるうちの「認知症介護研究・研修仙台センター」より手引書が公開されているのだが…。

ここで、私的にきわめて残念なことと感じていることを挙げると、『公的介護保険が動き始めた平成12年直前の「地域包括支援センター」委託応募自体の断念事件』と『昨年の認知症対応型共同住居開設の頓挫事件』、『某F先生の早逝』などがあるかと思っている。

また、これからの認知症を中心とした医療を先進的かつ魅力的に進めていくためには、熱意をもった多くの医療従事者（「人財」）のリクルートが必用であろう。そのためには、自由度が高く閉塞感のない働ける環境がまずは肝要と考える。まずは、前々から云っているように「周りから選ばれて認知症に関連する積極的な臨床治験環境」、時を失してるかもしれないが「病院型の認知症疾患センターの新規開設」、田舎にどーんと構えてるだけでは駄目で「当地での外来は縮小し、利便性の高い場所に、数か所程度のサテライト型の診療所の開設」、「認知症の方に特化しての訪問介護の開設」、「デイケアは、当地では不向きで他で開設して実行」、「OTのみならず、PTの方も採用」、「認知リハへの積極的な取り組み」等々である。まだまだあるが、これだけでやめておく。

個人的な持論としてではなく、ごく当然のことと思うのだが、古くからある事業母体で、旧来の事（もちろん、素晴らしいものであればだが）を持続する事と同時に、時代の要請に見合ったあるいは新しき発想を取り込み革新して行かねば、その事業は早晚消えゆく運命かなと思っている。このような考えを、現在のシルバー病院の全員が感じ、古き伝統も重んじながら、刷新していくことが極めて肝要なことであり、そのように『これからの10年』に向かって進んでいくことを願いつつ、筆を置かせていただきます。

「不安との闘い」

T.M

県外で一人暮らしをしていた母。きっかけは、4年近く前に住んでいた自宅アパートの全焼でしょうか…。

福井へ呼び寄せた頃には、時折お金の計算ができなかったり、思わぬことを言い始めたりして、病院へ連れて行った時にはすでにアルツハイマーがかなり進んでいる状態でした。担当医の言葉を聞いた時は、頭の中が真っ白になり何も考えられませんでした。私の隣では、母が泣いていました。ただ一つ幸いだったのは、その言葉を母がすぐ忘れたことです。

しばらくは、その神経内科に行っていたのですが、ある時訪問看護をしている友人から認知症専門の病院があるからそっちへ行ってみたらとアドバイスを頂き、ケアマネさんに相談したところ早急に予約を取り付けてもらうことになりました。時折不機嫌になる母にも穏やかに接し、話をしてくれました。今までとは違い、ゆっくりと母と向かい合うことができたと思います。

今年に入り、徘徊が始まり、夜中に警察署まで出向くこともありました。自宅では、薬の時間の調整も上手くいかないことから、先生から入院のお話を頂きました。入院することで、認知症が進行してしまうのではないかと私が分からなくなってしまうのではないかと色々思うことはありましたが、私の不規則な仕事や家庭のこともあり、入院をさせて頂くことにしました。

入院して4か月经ち、「一人ではもう生活するのは難しい」と判断された今、母にとって今後どうすることがベストなのか模索中です。穏やかに過ごせるように、少しでも笑顔になれるように…。周りの方の助言を大切に、母を見守っていこうと思います。



はじめまして!!

新入職員紹介



副医長
さなだ
眞田 康雄

2022年1月から、すこやかシルバー病院で働かせて頂くことになりました、精神科の眞田康雄です。こちらに赴任する前は、福井大学病院で働いておりました。認知症の患者さんの認知機能低下に伴う、憤りや不安に対して、真摯に向きあい、できる限り本人の思いを尊重し、知ることを重要と考える姿勢でありたいと思っております。また、御家族の不安な気持ちにも寄り添い、御家族が少しでも当院を受診されることで今後の対応の仕方の方向性を知り、安心して頂けるような診療を提供したいと思っております。

すこやかシルバー病院の名に恥じないよう、誠心誠意努めさせていただきますので、宜しくお願い致します。

トピックス

すこシルの小さな文化祭 ～作品展～

今回新たな取り組みとして、『すこシルの小さな文化祭～作品展～』を令和4年2月21日～3月4日まで一階ロビーで行いました。職員から思い出の品や手作りの作品などを持ち寄り展示。パッチワーク・写真立て・似顔絵・スクラッチアート・有名人のサイン・手作りハーバリウム・絵画・四季の写真・古切手など18点集まりました。細かい手作業で作った物もあり、見応えがありました。



診療体制が変更となりました

医師の退職・異動に伴い、令和4年4月より下記の通り診療体制が変更となりました。



外来診療担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
村田	午前	再 診		初診(再診)	再 診	初診(再診)
	午後	初診(再診)		再 診		再 診
さなだ 眞田	午前	初 診	初診(再診)		初診(再診)	再 診
	午後				再 診	初診(再診)
伊藤	午前				再 診	
	午後					



デイケアでの活動風景や、
さまざまな情報をみなさまへお知らせできればと思い、
このたびブログを開設いたしました。



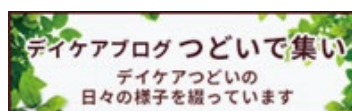
デイケアブログ「つどいで集い」

URL <https://ameblo.jp/daycaretsudoi-sukoyaka/>

こちらの QR コードからもアクセスできます ➡



すこやかシルバー病院ホームページ内の



からも

アクセスできます。お気軽にご覧ください。

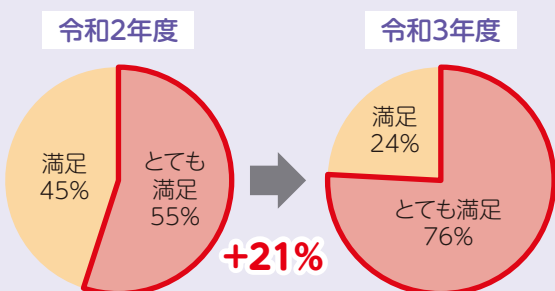
令和3年度 満足度調査の結果について

当院では、年に1度、患者様や御家族を対象とした満足度調査を行っています。

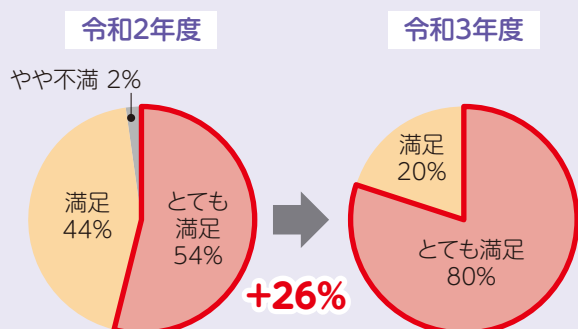
令和3年度は9月に実施され、入院関係は53人、外来関係は118人から回答をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

入院関係

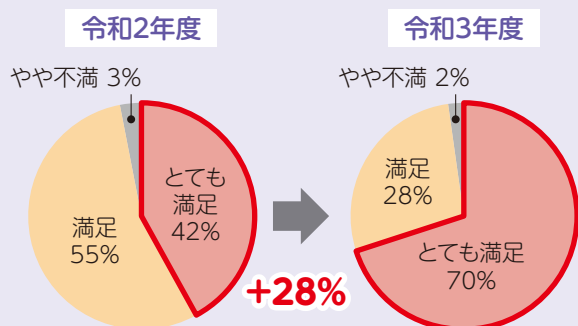
- 全体として満足していますか。



- 入院環境は満足していますか。

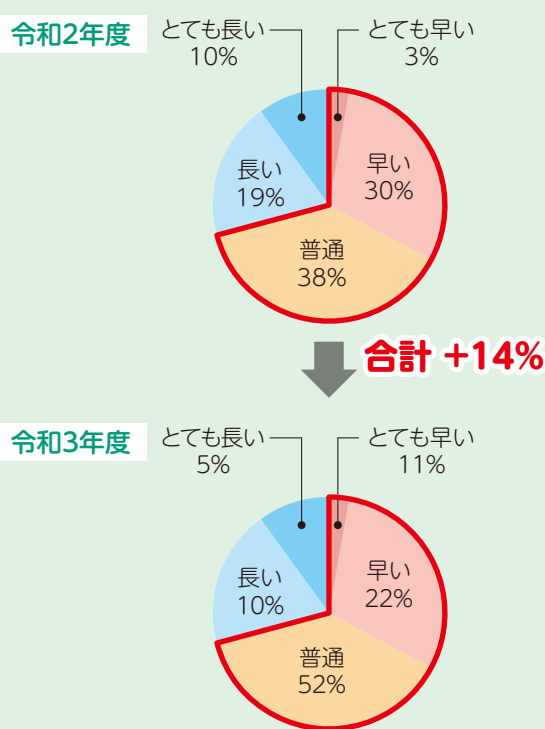


- 医師は話しやすい雰囲気ですか。



外来関係

- 診療までの待ち時間はどうですか。



今年度からは、この調査に加えて、日ごろから職員にお寄せいただいている御意見・御要望を取りまとめ、逐次、院長をトップとする会議で対応を検討しています。
今後とも、皆様に満足していただける病院づくりに努めていきます。

録画配信研修のお知らせ

YouTubeでの配信のため、途中、広告が入る場合がございます。
ご了承ください。

研修テーマ(各1時間程の研修です)	「認知症の理解とせん妄、BPSDの予防(病院での対応をもとに)」 内容／認知症とせん妄・BPSDの予防・事例と対応・まとめ 講師／福井県済生会病院 認知症看護認定看護師 藤本真央氏	令和4年 12月31日(土) 24:00まで配信
	「せん妄の理解とケア」 内容／せん妄とは・せん妄の特徴、原因・せん妄ケア 「高齢者のうつの症状とケア」 内容／うつの症状・高齢者のうつの特徴・うつ病と認知症の違い・うつ病の方へのケア 「眠れない方へのケア」 内容／睡眠についての基礎知識・睡眠障害に対する治療・睡眠障害に対するアセスメントとケア 講師／福井県立病院こころの医療センター 精神看護専門看護師 山口達也氏	令和5年 3月31日(金) 24:00まで配信
	「認知症の方のBPSDを理解する」 内容／認知症とは・BPSDがおきる成り立ち・BPSDの症状とそのケア・BPSDの原因を考える視点・不同意メッセージという考え方 講師／福井県立すこやかシルバー病院 山口泰宏看護師	令和5年 5月31日(水) 24:00まで配信

申込み方法

右記メールアドレスへメールにてお申し込みください。 kaigo@fukui-sukoyaka-silver.or.jp
 折り返しパスワードをお知らせします(返信に数日かかる場合もございます)。受信拒否設定をされていると届きませんのでご注意ください。
 申込みの際、氏名、事業所名、電話番号、視聴予定人数をお知らせください。
 お問い合わせ 福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700

【令和4年7月～】福井県立すこやかシルバー病院 研修案内

注意事項

- 定員以上の受付は致しません
- 体調不良の方は来場をご遠慮ください
- 検温の実施(37.5℃以上の場合、参加はご遠慮ください)
- 手指消毒の実施(入場の際消毒をお願いします)
- マスク着用(各自ご準備ください)
- 換気の実施(服装、掛物、座布団等持参のうえ調整をお願いします)
- 座席指定制(指定された席以外利用できません)
- 参加者氏名・住所・電話番号の記載
- 専門職の方は所属施設の許可がある場合のみ参加可能(所属施設の許可がない場合、申し込みはご遠慮ください)

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町93-6) 2階講堂

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
脳を活性化させよう	6月10日(金)	13時30分～14時20分	●心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 濱谷祐三子介護福祉士	24名
認知症の基礎知識と対応のポイント	6月17日(金)	13時30分～15時	●認知症の原因疾患、症状について ●認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 山神昭江看護師	24名
認知症を予防するための基礎知識	6月23日(木)	13時30分～15時	●認知症の危険因子や脳を鍛える対策 ●脳を元気にする食事のポイントについて	福井県立すこやかシルバー病院 田中あゆみ管理栄養士	24名
レビー小体型認知症の方の介護	6月24日(金)	13時30分～15時	●レビー小体型認知症の症状について ●レビー小体型認知症の方の介護のポイントについて	福井県立すこやかシルバー病院 増田直代看護師長	24名
脳を活性化させよう	7月8日(金)	13時30分～14時20分	●心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 松間香織作業療法士	24名
認知症の基礎知識と対応のポイント	7月22日(金)	13時30分～15時	●認知症の原因疾患、症状について ●認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 清水宏隆看護師	24名
認知症高齢者の排泄援助	7月29日(金)	13時30分～15時	●認知症高齢者が排泄時に援助を要する状況 ●認知症高齢者に対する排泄時の介護のポイント	福井県立すこやかシルバー病院 辻 真彰副看護師長	24名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修は中止となる場合がございます。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700